

## ワークライフバランス支援室が産学共同で開発「ありそうでなかった・医師用マタニティ白衣」

ワークライフバランス支援室では、昨年秋頃妊娠中の女性医師が快適に着用できる白衣が欲しい、という職員からの要望を受け、医師用のマタニティ白衣を購入して必要な職員に必要な時期だけ貸し出すレンタル制度を考案しました。従来、妊娠中の医師は妊娠後期には白衣のボタンを外すか、サイズの大きな男性用などを着ていたのです。

しかし、市販の白衣を調べてみると、看護師用のマタニティ白衣はいくつかありましたが、医師用のコートタイプ白衣でマタニティ用のものではありませんでした。「ありそうで、実はなかった」のです。ならば、自分たちで作ってしまおう！と、病院医学研究費の助成を受け、地元白衣メーカーと産学共同で医師用マタニティ白衣の開発に着手しました。試作品を妊娠中の本学職員に試着を依頼しては、何度も改善作業をおこないました。このたび、ようやく「研究用」として

「マタニティ白衣のレンタル制度」を開始する予定です。

コートタイプのマタニティ白衣は、医師のみならず医療技術職・薬剤師などのメディカルスタッフはもちろんのこと、実験系の研究職や技術職など広範囲の職種で利用可能です。妊娠中でも快適にまた素敵に着こなすことができる白衣の存在は、女性が仕事へのモチベーションを保ちながら産休前まで生き生きと働くための、重要なサポートツールの一つになると期待できます。詳細は、当支援室ホームページをぜひご覧ください。

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/wlb/>

### ワークライフバランス支援室 内田 伸恵

の白衣が完成し、病院長同席の下、8月16日に記者発表（図1,2）で披露しました（平成23年5月30日特許出願済）。今後はこの「研究用」白衣で学内外でモニター調査を行い、改良を重ね実用化を目指します。最終的には当初の目的通り、実用版白衣で支援室による



図1 記者会見(左から、小林病院長、内田室長、中村教授、津森副室長)



図2 本学職員によるマタニティ白衣の披露  
(左は薬剤師用のブルー)